

# 事業報告書

自治体名 東京都

**【基本情報】**

フリガナ	シヤカイフクシホウシツウキョウコロー
法人名	社会福祉法人東京コロニー
フリガナ	ヒガシウルメダイニヒカダイリョウ
事業所名	東久留米第二氷川台寮
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)	
<b>共同生活援助</b>	
職員数(常勤換算数)【全職員の月間勤務時間数/「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出(産休・育児・休職は除く)】	
<b>11.1 人</b>	
ICT機器等導入完了日	令和 8年 2月 2日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
請求業務	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
勤怠管理	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
シフト表作成	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
給与業務	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない(紙のみで対応)
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等に対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等に対応)

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連ソフト	③業務の統合化	給与奉行クラウド	1	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fiルーター

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化(職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
⑥給与業務	2人	7件	84件	240分	336時間	168時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		7件	84件	240分	336時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。  
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

タイムカード(紙)の打刻時間から給与計算システムに入力する労働時間を計算する業務回数と給与計算システムに入力する業務回数と出力した給与明細を確認する業務回数の合計。

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①タイムカード(紙)の打刻時間から給与計算システムに入力する労働時間を計算する業務回数:3回(840分)、②給与計算システムに入力する業務回数:3回(780分)、③出力した給与明細を確認する業務回数:1回(60分)。1680分(①+②+③)/7回=240分。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A. ひと月当たり発生件数	B. 年間発生件数 (A×12)				
⑥給与業務	2人	7件	84件	214分	300時間	150時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		7件	84件	214分	300時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。  
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

タイムカード(紙)の打刻時間から給与計算システムに入力する労働時間を計算する業務回数と給与計算システムに入力する業務回数と出力した給与明帳を確認する業務回数の合計。

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

①タイムカード(紙)の打刻時間から給与計算システムに入力する労働時間を計算する業務回数:3回(840分)、②給与計算システムに入力する業務回数:3回(600分)、③出力した給与明帳を確認する業務回数:1回(60分)。1500分(①+②+③)/7回=214分。

年間業務時間数削減率(%)

10.8%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
給与文書	60 ページ	720 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	60 ページ	720 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
給与文書	60 ページ	720 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	60 ページ	720 ページ

年間作成文書量削減率(%)

0.0%

(4)ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

機能的な人員不足による他の業務との兼務、かつ業務負担の増大による長時間労働を是正するために機器導入できる支援業務とできない支援業務を再度精査すると同時に機器の設置環境を整える。設置環境を整えるとは、数十年前に建築されたグループホームは通信機器の配線が有線のため、新たな機器を使用する場合中の配線工事から改修が必要になることがある等の施設整備のことである。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

② ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)

情報端末導入による効果	
<input type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
<input type="checkbox"/>	4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果	
<input type="checkbox"/>	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
<input type="checkbox"/>	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
<input type="checkbox"/>	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
<input type="checkbox"/>	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
<input type="checkbox"/>	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
<input checked="" type="checkbox"/>	6 その他の効果があった。
<input type="checkbox"/>	7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

FALSE  
FALSE  
FALSE  
FALSE  
FALSE  
FALSE

③ ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

オンプレミスソフト型から新たにクラウド型を導入したことにより実務者2名が同時にシステムにログインして作業することができるようになったため、入力項目の確認及び修正を効率よく行うことができるようになった。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

支援現場で障害者支援業務に従事している。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の削減 無

※ICT機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

削減額(円)	
職員の上昇等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

(※2)「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。